



柏ビレジ・ニュース

1997年10月1日

柏ビレジに 無線通信網が完成

防災部長 笹本 進

大地震等最悪の災害が発生した時、電話・携帯電話・PHSは使用出来なくなる。このために「ビレジ独自の通信手段確保」の必要性を前回のビレジニュースで訴えました。

防災部ではビレジ内のアマチュア無線家に「柏ビレジ・ハムラジオクラブ」を設立し、大災害時の非常通信に協力するよう要請したところ、有資格者十五名がこれに呼応し、早速郵政省電気通信監理局に免許の申請を行いました。

これにより七月三十一日付で呼び出し符号「J01ZEF」柏ビレジハムラジオクラブの「アマチュア無線局」が免許されました。

なお最低限必要な機材は自治会で購入し、これをハムクラブに貸与する替わりに有事の際には非常通信に協力するという協定を「ハムクラブ」と「自治会」間で締結致しました。

又大災害時に自治会がビレジ全域の状況把握をするために自治会役員(支部長)が支部内の状況を自治会館の災害対策本部に通報できるように、誰でも使用出来る簡易業務無線局も申請し、八月十三日付で呼び出し符号「かしわびれじ」の無線局の免許を正式に取得致しました。

これにより自治会館には二種類の無線局が設置され最悪の事態が発生し電話等が不通になっても通信手段が確保出来ることになりました。

なお、パンザマスト上のアンテナの調整には柏市西部消防署の「はしご車」が動してくれ、ビレジの防災システムに理解を示していただきました。

早速夏祭りでの通信訓練を兼ねてこの無線を使用したところ、会場の準備作業から当日の運営そして撤去作業に至るまで大いに無線の威力を発揮致しました。大災害発生時には訓練次第で同様の効果が得られることでしょう。

ハード面は完成致しましたが、あとはいかにこれら施設を有効に使用するかのソフト面での整備を防災部を中心に進めて参ります。

「柏ビレジ自治会の資産」となった無線施設の概要は次の通りです。

- ◆簡易業務無線機 子機十二台、親機一台
- ◆アマチュア無線用無線機 一台
- ◆パンザマスト(高さ15m)及びアンテナ十二基
- ◆発電器 一台



アンテナマストは柏市の所有地に市長の認可を受けて立てました



左側がアマチュア無線施設 右側が自治会用無線施設

防災訓練が 実施されました

本年第一回目の防災訓練

として八月二十二日(金)、夏祭りの前夜祭で大室分署及び松尾防火委員のご協力を得て、「起震車による大地震の体験訓練」及び「防災映画の上映」を実施致しました。

起震車の体験には老若男女百名が参加し、震度六級の地震の大きさに驚いた様子でした。又大室分署員からは大地震の際には先ず、「火を消すこと」タイミング

アンテナを見ては海外等のハム仲間との交信も魅力だができる方々と無線でお話と考えておりました。

こんな時、自治会防災部で非常時にも役立つであろう「自治会にハム無線局設置」の計画が急浮上し、賛同者を募ったところ十五名の有資格者がこれにこたへるに至りました。

自治会の防災計画の一環として発足するため、自治会より無線機器と設置場所の貸与を受け、有事の際には非常通信に協力するとの協定を自治会と結びました。

これにより郵政省関東電気通信監理局に「柏ビレジ・ハムラジオクラブ」のハム無線局の免許を申請したところ、七月三十一日付で呼び出し符号「J01ZEF」の無線局が正式に取得致しました。

柏ビレジ ハムラジオクラブ 発足について

福井泰一郎

首記クラブが新たに発足することになりましたが、はからずも初代の会長を引き受けることになりました。

初年度の重要な年に私のような者が勤まるのか心配ですが本年は試行錯誤の年とご理解いただき、又クラブ員各位と自治会のご支援により何とか頑張る所存ですので、当クラブの存在にご理解いただきたくお願い申し上げます。

さて、私がかねがね当ビレジのあちこちに立つ無線

テーブルや机の下に身を隠し「身の安全を図ること」等、具体的な対処法について説明があり、大変役に立ちました。

(笹本 進)



「キャー!」「コワイ!」

自治会館 拡張委員会 活動報告

総務部長 田中脩貴

当委員会も一年目を迎え、六月二十二日に新メンバーを加えて「PARTII」として発足致しました。一年目で委員長を務めて頂いた服部さん、同じく副委員長の谷川さんを始め十名の方に御参加を頂き、九月か十月に予定されている柏市役所の「ヒヤリング」に対する資料作りを開始致しました。各委員の御尽力の結果、九月十三日までに六回の委員会を重ね、必要書類

線局が正式に免許されたわけです。

聞くところによれば「阪神淡路大震災」時には商用通信(電話)がパニックする中、ハム無線が大活躍したようでありました。よって、これからはハムクラブ会員相互間のコミュニケーションを深め、文化活動と共に日頃、通信訓練を重ね非常時には自治会防災部と連携して被害を最小限にとどめておく役に立ちたいと考えております。(ただし、災害発生時の曜日・時刻によっては機能出来ないこともある)

ところで、情報通信の分野ではインターネット・携帯電話・衛星通信等新しい話題に事欠かない昨今ですが、アマチュア無線の世界でもマルチメディア時代の

様々な方法で多くの人達が趣味として楽しんでおります。初級の資格であれば、難しい電気の基礎知識がなくともその気になれば、誰でも数日の講習を受けることでアマチュア無線の資格が取得できる今日です。いずればそのためのお手伝いの機会も用意し、より多くの方がお空のミーティング(無線によるミーティング)に参加できればと願っております。そうなれば大災害発生時には一層、自治会/防災部が期待する活動が可能になることでしょう。

最後にご理解いただきありがとうございます。

当柏ビレジのテレビ受信はCATV方式でアマチュア無線の電波がテレビ受信に悪影響を及ぼすことは通常では考えられませんが、

である「平面図」と「資金計画」の案がほぼ完成し、あとは柏市役所の「ヒヤリング」に呼ばれる事を祈るだけ、という段階までこぎつける事が出来ました。この紙面をお借りし、各委員の方々に、心より感謝申し上げますと共に、特に資料の「平面図」に対し、何回となく手直しを重ね、御協力頂いた葛西さんには、大変な金額に相当する「設計」をボランティアとして奉仕して頂き、改めて感謝申し上げます。

今後も全員参加を目指してがんばりますので、ご協力の程、お願い致します。

テレビの他、電子ピアノ・電話・ステレオ等に障害を与える原因としては電子レンジ・掃除機・洗濯機・ひげ剃り・換気扇等モーターを使用する機器から、あるいはガンブカーやトラックの違法無線等も考えられます。よってこれらテレビその他への障害はアマチュア無線が原因とは限りませんので、この旨ご理解いただきたく存じます。

なお、様々な障害がアマチュア無線に起因することが明確であれば、当クラブは責任をもってこれを解決致しますので何なりとご相談ください。

どうか「柏ビレジ・ハムラジオクラブ」へのご理解とご支援を。そして積極的なご参加をお待ちしております。

田中まつり

開催

7月6日

「広げようふるさとづくり」市民の輪

実行委員長 澤村義幸

ユーマア賞をいただきました



第20回'97柏まつり田中地区大会が、7月6日(日)午後1時より田中中学校校庭にて開催されました。田中地区20町会の内16の町会・自治会が「ふれあいの輪」を広げ、住みよい町「ふるさと田中」を目指して開催された地域住民手作りのお祭りです。当日は朝早くから役員の方々は忙し、荷物の運搬、テントの設置、みこしの組立等々、私を含めて初めての役員が多かったけれど、皆一所懸命頑張った。諸先輩・OBの助言のおかげで何とか形になった次第です。

さて、いよいよおまつりが始まります。猛暑と黄砂を思わせる砂ぼこりが校庭をまわ中、パレード、一輪車演技と順調に進行しました。その間役員はひたすら水を撒いてコンディションを整えておりました。子供みこしは90人以上もの子供達が参加、「ワッショイ、ワッショイ」のかけ声に思わず実行委員の大人達も童心にかえって氣勢をあげてしまいました。「輪おどり」はさすがに踊りの会だけあって見事でした。暑い中大変ご苦労様でした。当日の暑さで、自分の悪くなつた子供達も何人かおりました。が、何事も無く終わり安心しました。また、終始ゴミの処理を担当していただいた環境部は従来のゴミステーションを武器に完璧なゴミの分別処理をし柏ビレジの存在を大いにアピールすることが出来ました。

終盤にはお楽しみ「七夕飾り」の表彰です。柏ビレジは今流行のタマゴツチをモチーフとし、見事「ユーマア賞」を獲得。忙しいのに毎週コツコツと少しずつ作った汗の結晶です。おめでとうございました。最後に、これらの大事が「ワッショイ、ワッショイ」



子供会のお母さん方もなかなかお見事!



ベテランの踊りの会の方々

夏まつりを終えて

実行委員長 田村昭夫

八月二十二日、二十三日の二日間、柏ビレジ夏祭りには、無事終了致しました。自治会の役員の皆様を始め、その他多くの方々のご協力に、心より感謝し、またお礼申し上げます。

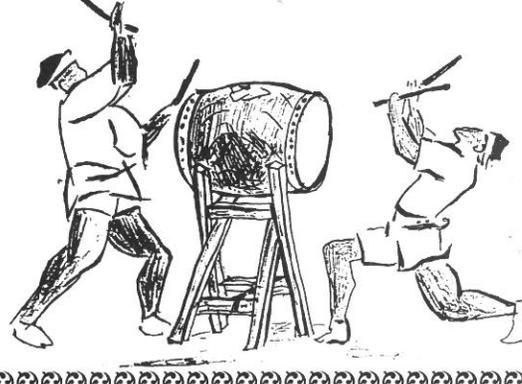
多くの皆様同様、私にとつて、祭りそのものを主催したのは全く初めてで、何から手を付けて良いのか、見当もつきませんでした。また、準備期間も一か月余りと、意外に短くアツという間に当日になってしまつた気がします。

祭りの日は、前夜祭、当日とも好天に恵まれ、予定どおり、朝七時に実行の花火が打ち上げられました。いよいよ本祭りの始まりです。実際、これ以降はそれまでの私の不安は全く消えて、各委員の方や関係した皆様、役割を存分に果たされ、無事に終了したので

最後に踊りが終わると、計つたように雨が降ってきて、祭りは終わりました。私らも子供の頃から祭りは大好きでした。太鼓の音、金魚すくいなど、楽しい懐かしい思い出として心に残っています。やはり、祭りは地域の楽しい思い出として、心に残るものだと思います。柏ビレジ夏祭りがますます盛大になりますよう、お祈り申し上げます。

柏ビレジ夏まつり

8月22日(金)・23日(土)



柏ビレジ 花火大会
八月二十三日、今年も柏ビレジ夏祭り恒例の花火大会が行われました。夜空に咲き誇る色とりどりの美しい花々。この花火は、毎年自治会会員の皆様からの寄付金(今年は一、四八七、〇〇〇円)によって打ち上げられています。今年も沢山の御寄付を頂きありがとうございました。

柏ビレジ夏祭り 寄付金 ありがとうございます
柏ビレジ夏祭り際、各方面から御寄付(四十四万千円)、又お酒、ビールの御寄付を頂きました。お礼を申し上げます。
●柏ビレジ商店会 ●東京

今年も大好評 古本市

ここ数年、お祭りの屋台にもなじて図書ボランティアの「古本市」が好評です。最初の年は電気も暗く、苦労しましたが、今年はお祭りのご協力で立派な蛍光灯をつけてもらって、とても助かりました。
三時半頃から本を並べ始めると、もう何人かの方が見に来て下さり、バックナンバーの揃ったコミックをかなりお買得で手に入れた女の子もいましたよ。
ただ毎年の悩みは、夕方の出足が遅く、いつも花火の始まるギリギリまでお客様の来て下さるので、ボランティアのメンバーが花火をゆつくり鑑賞できない事です。来年から本の好きな方はできるだけ早く来て頂きたいです。
(図書ボランティア)



七月二十六日、近隣センターA会議室で「戦争体験を語り継ごう」というテーマで座談会を開いた。

このテーマは既にいろいろなメディアで取り上げられ、出て来る話題も結果も判りきったテーマで、何を今更と思われるむきもあるうかと思う。しかし私達は、私達のいちばん身近にいる人々の生の声でかざらない言葉で話されるのを余り耳にしていない。そこでこの会を考えたのだが、果たして今まで親しい人にも語らなかった人々が、人前で話して下さるかどうか、話を聞きたいという人が集まるだろうか不安だった。

語り部十人程、聞く人十人程、涼しい部屋で心づくしの麦茶をいただきながら静かに語り始まった。

★中国を転戦した。

★中支、北支、ビルマ、激戦に次ぐ激戦だった。戦争を知らない若者達が酒に酔って軍歌を唱うのを聞くと腹立たしい思いがする。そんな時戦死した戦友の顔が目に浮かぶ。

★新婚間もなく夫は応召、そして硫黄島で戦死、生まれたばかりの子どもを背負って夫を駆で見送ったのを今も思い出す。

★新婚生活いくばくもなく夫は出征、南方で戦死、忘れ形身のお子さん。

★広島市郊外で御長男と二人で被爆、御本人は妊娠していたので比較的軽度、今

も原爆手帳による健診を受けている。

★結婚式は内地で、単身姑の待つ満ソ国境警備の夫の任地に朝鮮半島を汽車で。間もなくソ連参戦、引き揚げ、夫とは戦後内地で再会。

★幼時、満州で日支事変の現地に居合わせ、中国兵の無惨な姿を見て戦争の恐ろしさを幼い胸に焼きつけられた。学童と共に富山の寺に疎開、戦禍から多くの学童

感想

今回の会に出席された方々の感想をお聞き下さい。全員女性、四十代です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

★同じビレジに住む、楽しんでお元氣な方々が、戦争を体験されていた。これは決して不思議な事ではないのに、なぜかピンときません。それほど私と戦争は遠いものだったので。ところが、出席者の方々の淡々とした、でも確かな記憶から語られるお話はつらいとか悲しいとか苦しむとかい言葉はないのに私の心に深く突き刺さりました。

戦争を語り継ごう 収録 図書ボランティア

★戦争は残酷であると判っている、それは映像の世界でしかなかった。戦争という想像を絶する時空の中で兵士も妻も子も極限を生きたという事実を突きつけられ、その辛苦を思い、今の平和を有難いと思つた。戦争とはいかなるものか知るべきである。戦争体験を語り、聞くことは平和への願いに他ならない。

★特に印象に残った言葉は「その場に居ると(人殺し)もやってしまう。今になると、よくあんな事をしたなと思う」

「五十年たった今でも戦争の夢を見る」等です。

今のこの平和を守るには

「もう戦争はしないぞ」という私達みんなの強い意志が必要です。そしてその為にも、あの悲惨な戦争体験を風化させてはいけなと思ひました。

★淡々と語られる奥にしまわれた、深い苦しみや悲しみを感しながら、戦争の持つ破壊性に私たち一市民の生活がいつも軽々しく翻弄されて行くことを思い、反戦の気持ちを一人ひとりが強く持つて生きて行くことの大切さを実感いたしました。

★今迄に、大戦について、書かれたものを読んだことはあっても、体験した方々から、直にお聞きしたのは初めてでした。検定教科書や政治的立場、諸外国との外交上の駆け引きなどは無縁のところ語られる事実は、貴重だと思ひます。

そして、胸を打ちます。戦後五十余年を経た今も公開されていない資料もあるという事です。今、私がどう考えているかを子供達に伝える自信はありませんが、せめて、子供自身が、後に判断できるだけの材料として、事実を伝えておく義務は果たさなければと思ひます。

このような集まりが継続して行われ、そして、次の機会には子供達にも是非、聞いてほしいと願っています。

郷土史研究 3

柏ビレジ周辺のむかし

番城面と城の越

磯田正八



元東急案内所の所に、今年四月に交通信号機が出来た。その所に番城面の地名の由来を書いた標柱が立っている。もう前から気付いている方も大勢いられる事と思ひますが、ずっと昔は番匠免と言われていたと言ふ。此の辺りの土地を支配していた領主が、遠方から大勢の棟梁達を招き、城や寺、神社等を造らせ、此の辺りに土地を与えて住まわせ、年貢等を免除して優遇したと言ふ。免とは年貢を免除の事で、面とは場所の事を言つた。現在番城面と呼ばれる様になったのは、いつ頃かは分りません。一説には、城の番をしていた人達が住んでいたもので、番城面と成ったとか、大室に城の越という城があった事を考えると、古い時代にそういう様になったのかも知れない。古い地図には番城面は独立丘陵で高さは二〇米で、二

五〇米×一五〇米の不整形の丘陵で、上面は平らに削られていたと言ふ。現在はビレジ造成の際に崩されてしまい、一部分しか残っていない。第四、第五支部はこの丘陵を崩して整地した所と思われる。

大室の城の越は、昭和二十六年の田中村の村史に依れば、口伝として将門の妾の城だとしてある。近くの張間内に武将が住んでいたとしてあるが、而し、その武將も誰であったかは分らない。

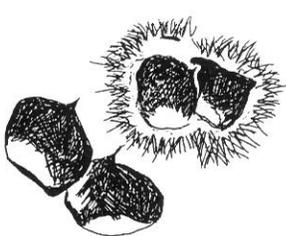
又、妾の城に付いては、種々と説があり番城面とか将門説が入り交つていて、誰の城であったかはっきりしない。

城の越の標高は二〇米で、長径は四〇〇米短径は二六〇米の楕円形、田舟を裏返しにした様な独立丘陵であった。

この城跡も大正年間に、堤防構築の為に北側が削り取られてしまい、この時に、埴輪、瓶子、壺高杯、古刀



つづく



その後、この城跡からは雨の降る夜は、火の玉が飛び交うのを見たと言ふ村人が現われ、又、この近くを通ると、女子供の泣きわめく声を聞いたと恐れて、子供はあの山へは行くなと親達に言われ、日が暮れると早々に寝かされたと言ふ。

この城も昭和十五年五月に陸軍の高射砲隊の射面場となり、この山の姿も一変し、日夜の突貫工事に依り、その面影を見る事は出来なくなつてしまった。

太平洋戦争も終わり、世の中の混乱も少し落付いて来た。昭和四十一年四月防衛庁は、ホークミサイルを設置する為、周辺の水田を買収し、大室射面場の工事に着手した。

この間、周辺地区住民の

基地反対運動があったが工事は着々と進み、同四十二年五月に、発射台が設置された。

独立丘陵としての城の越も、将門以来幾百年も続いて来た永い歴史もここに跡形もなく消え去つてしまった。

尚、天正十七年(一五八九)この頃小田原北条配下にあった、小金城々主高城兵衛守は、北条支援の為、同十八年五月小田原城に籠る。そして大室、城の越に、一族の兵を残したと言ふ。この様な歴史と伝承の地も、昭和五十年頃より東急不動産に依つて、花野井、大室の十五万坪の土地買収開発が始まった。

そして私達は現在このビレジに、何と自由なく暮らしている。

環境部からの活動報告

環境部長 近藤多文

柏ビレジ自治会規約の第一(目的)に、『本会は区域住民の福祉の増進、親睦、防犯防災、環境の美化、整備、文化の向上、施設の維持管理等、区域内の自治を図り、豊かで潤いのある住みよい町づくりを目的とする。』とあります。環境部はこの目的の一翼を担うべく地道に活動しています。歴代の環境部及び役員の方々の御努力もさることながら何んといっても、ビレジ住民の皆様が『美しい町ー柏ビレジ』への思いを持ち、陰に日向に協力されたおかげで、今日のビレジがあると思えます。例えば、ゴミの分別回収がスムーズにいくのも大きな協力です。柏ビレジも開発当初より十数年経ち、世帯数も圧倒的に多くなり、大きく発展してきました。『美しい町ー柏ビレジ』の環境を維持するだけでなく、より発展させてゆくには工夫が必要です。現在、環境部がかかえている問題(バス通りの迷惑駐車・ベットの糞等々)に対し少しずつ工夫をし、対策実施をしていきたいと思っています。皆様におかれましてはどうぞ御理解、御協力の程お願いいたします。

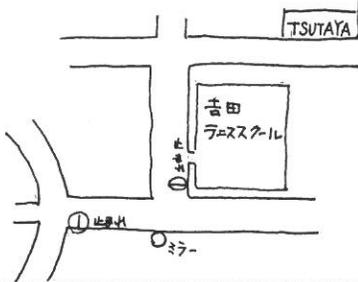
マイカー点検教室 その4

現代の車は、ひと昔前の車と比べると、電気の使用量は、はるかに多くなっています。今の車は電気がなければ動きません。その元がバッテリーです。バッテリーの寿命は二年〜三年位が目安で、それ以上過ぎたのは、いつだめになってもおかしくないと思います。

江戸坂下における、下記の地図の場所において、朝の通勤時等、非常に交通量が多くなりもう一度改めて停止線の位置等、守って欲しいという意見が多数の人より寄せられました。
※花野井小方面より、江戸坂に向かい右折する時、江戸坂より下りてきた車が停止線より出て止まる為、結局待たなくてはならない。
※右折した後、江戸坂を上ろうと左折する時、下つて来た車が停止線の前に出るため、優先であつても待たなくてはならない。
※逆に江戸坂を下つて来ると、右折方向へのミラーはあるが、左からの車が見えにくい為停止線を出て確認してしまふ。
※右折を終えても、次の停止線では道がカーブし

御存じですか コーナー

ているので見えにくい為、停止線を越えてしまいがちである。
転ばぬ先の杖ではないですが、お互いにルールを守り、譲り合つて安全運転をもう一度心がけませんか!!
もう一つ寄せられたご意見が多かったのがビデオ「TSUTAYA」から出る時(野口整骨院前出口)、非常に危険で怖いという意見でした。ミラーでも付けてもらえたら嬉しいですね!!



①メンテナンスはまず液量がアツパーレベルとローレベルとの間にあるかどうか、少なければ補充する事。但しアツパーレベルより多くは入れない事。多いと充電時、液があふれる。(バッテリー廻りの腐食)
②プラスとマイナスのターミナル部分の錆とゆるみは接触不良をおこしトラブルの原因となります。(クボタ)

日本赤十字『社資』の御礼

お陰様で、多くの方々の御賛同を得る事ができ、昨年を上廻る金額 520,700円を集める事が出来ました。

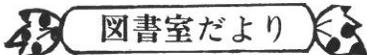
柏市の福祉課の方も、大変喜ばれ『皆様の善意は、有効に使わせて頂きます』と感謝の言葉を頂きました。

皆様の御協力にありがとうございました。

11月22・23日 文化祭開催

会場は花野井小学校体育館です。
無料でお茶席のおもてなしもごさいます。
23日は舞台出演がある予定ですので、皆様ご近所の方々をお誘いあわせの上、是非会場にお越し下さい。関係者一同お待ちしております。

10月のお知らせ



第6回 お茶と読書の会

テーマ 「ふたり」 唐沢寿明 著

日時 10月31日(金) 1:30~3:30PM

場所 柏ビレジ近隣公園 (雨天)近隣センター図書室

会費 300円(当日)

申込み 図書室入口ドアの用紙に記入

切 10月29日(水)

問合せ 日曜日 図書室まで

高校教科書の副読本として採用された話題の本です。ご家族で読んでみてはいかがでしょうか。図書室に数冊用意しましたので、ご利用下さい。

今回は青空の下で、お茶を飲みながら、楽しく話したいと思います。 図書ボランティア

共有施設管理組合からのお知らせ

TV共視聴設備についてのお知らせ

共有施設管理組合

東京電力(株)が送電線の工事を行うのに際して、柏ビレジのTV受診への影響が懸念されました。交渉の結果、同社がその補償として無償で共視聴設備を維持管理し万全を期することになりました。その概要は次表の通りです。

Table with 3 columns: 現 在, 変 更 後, and 備 考. Rows include: 各戸での受信状況, 維持管理委託先, 維持管理委託料, 将来の設備更新, 各戸の負担, 設備の所有形態 (集合アンテナなど, ケーブル・保安器など), 共同防犯防災システム, 共有施設管理組合.

※宅内の防犯防災システム(スミセーファ)は、TV視聴設備の幹線を利用して作動しています。視聴設備の工事の際に、各ご家庭の電源が完全にカットされていなければ、ブザーが鳴り、隣り近所に大変な迷惑と混乱がおこります。したがって、共有施設管理組合では、スミセーファを設置してある全戸に専門業者(大電工(株))を手配して、グループ電源カットとチェックを行います。宅内機器であるスミセーファの電源カットの費用は、視聴設備の幹線工事の関連費用として組合負担で行います。

スミセーファは誤作動が多く、余り評判が良くないようですが、機器が正常である限り、ご家庭内だけの警報装置として作動させる事が出来ます。

詳しくは、指定の専門業者が巡回して来た時にご相談して下さい。

尚、スミセーファのグループ電源カット以外の修繕費用は有償となりますのでご承知おき下さい。ご不明な事がありましたら、共有施設組合の各支部役員にお問い合わせ下さい。

謹しんでお悔み申し上げます

梶田 義次 様 84才

森下 たけあき 様 97才

鳥居 菊蔵 様 75才

六九街区一十一 九月十四日逝去

八八街区一八 九月七日逝去